

2011年3月期 第3四半期
2010年4月1日～2010年12月31日

2011年 Vol.1

業績ハイライト	1
数字で見るNRI	2
セグメント別およびサービス別の概況	3
トピックス	4
株主の皆様へのアンケートより	7
会社データ	8

野村総合研究所
Nomura Research Institute

未来創発 Dream up the future.

NRIグループの企業理念は「未来創発」です。

変化が激しく先の予測がつかないこの時代。
社会をしっかりと見据えながら
確かな未来を切り拓いていきたい。

そのために、新しい価値を創造することで
世の中に貢献したいと私たちは願っています。

NRIグループは「未来社会創発企業」として
あくなき挑戦を続けていきます。

業績ハイライト

Financial Highlights

(億円)

	2010年3月期 第3四半期累計	2011年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
売上高	2,521	2,419	△101	△4.0%
営業利益	327	270	△57	△17.5%
営業利益率	13.0%	11.2%	△1.8P	
経常利益	334	283	△50	△15.2%
四半期純利益	186	162	△24	△12.9%

第3四半期決算のポイント

- 証券業向けは主要顧客を中心に厳しい事業環境が継続
- 製造・サービス業向けの新規プロジェクト立ち上げにも、苦戦を強いられている
- 保険業、その他金融業向けは既存顧客を中心に堅調
- コンサルティングの事業環境には回復の兆し

売上高は、前年同期と比べ証券業向けや製造・サービス業等向けの開発案件、および商品販売などで減少しました。収益構造の強化および顧客基盤の拡大に向けた案件への取り組みによるコストが増加したものの、外部委託費の削減に努め、売上原価は減少しました。一方、販売費及び一般管理費は、人員増加やオフィス拡張などもあり増加しました。その結果、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期と比べて減益となりました。

数字で見るNRI

NRI at a Glance

売上高

(単位：億円)



2,419億円
前年同期比 Δ 4.0%

売上高は、証券業向けや製造・サービス業向けの開発案件が減少しました。保険業やその他金融業向けは既存顧客を中心に堅調に推移しました。また、コンサルティングの事業環境には回復の兆しが見られます。

営業利益

(単位：億円)



270億円
前年同期比 Δ 17.5%

売上高の減収に加えて、収益構造の強化および顧客基盤の拡大に向けた案件への取り組みによるコストの増加などにより、営業利益は減益となりました。

経常利益

(単位：億円)



283億円
前年同期比 Δ 15.2%

受取配当金の増加や、営業外費用が減少したことなどにより、営業外損益は前年同期比で6億円増益の13億円となりました。

四半期(当期)純利益

(単位：億円)



162億円
前年同期比 Δ 12.9%

資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額として3億円を計上したことなどにより、四半期純利益は減益となりました。

1株当たり四半期(当期)純利益

(単位：円)



83円
前年同期比 Δ 12円

前年同期に比べ12円減少し、83円となりました。

(注) 1. 記載金額は、億円未満(1株当たり四半期(当期)純利益は円未満)を切捨てて表示しております。

2. 2011年3月期通期予想は、2010年10月29日に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益および配当金は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

セグメント別およびサービス別の概況

Summary by Segment and Service

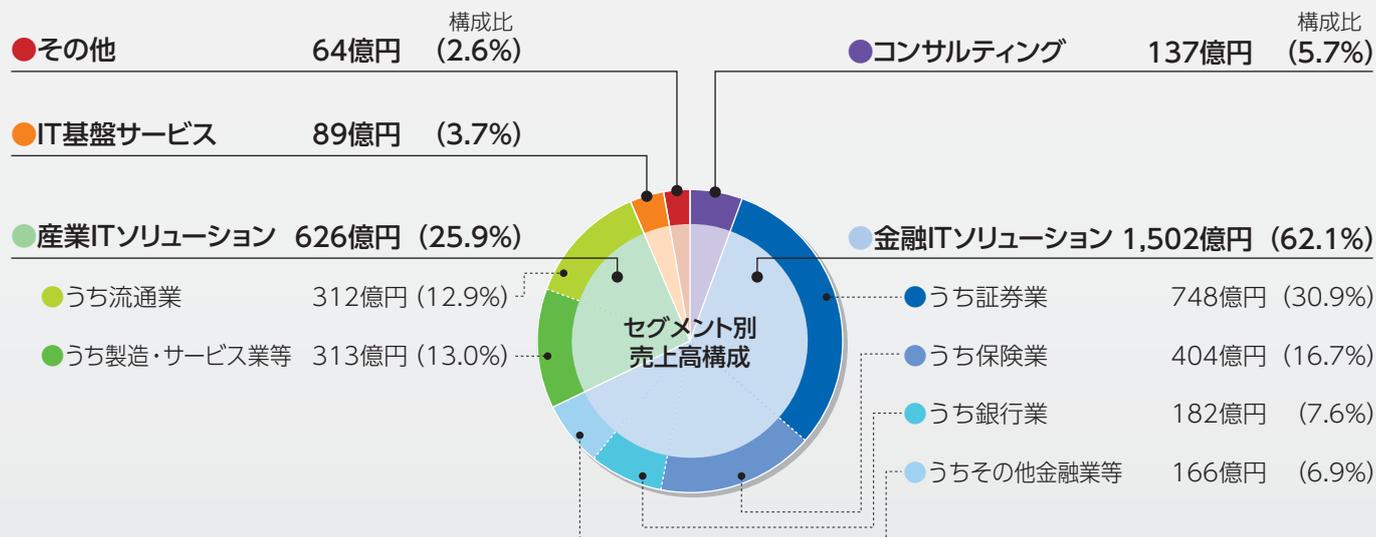
2011年 Vol.1

2011年3月期 第3四半期

セグメント別売上高

(単位：億円、%)

「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用したことにより、セグメントの開示方法を変更しました。NRIでは、「コンサルティング」「金融ITソリューション」「産業ITソリューション」「IT基盤サービス」の4つのセグメントにより、セグメント情報を開示しています。



企業の情報システム投資に対する慎重な姿勢は変わらず、情報サービス産業にとって厳しい経営環境が続きました。

コンサルティングは、中国における事業を積極的に展開したこともあり経営コンサルティング案件が増加し、売上高は137億円と前年同期比2.1%の増収となりました。

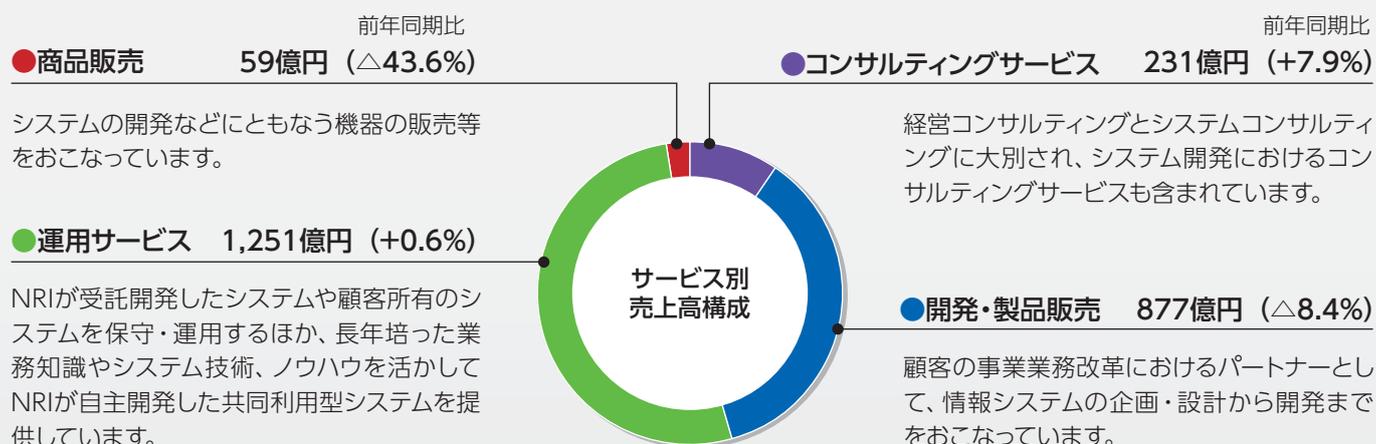
金融ITソリューションは、保険業向けのコンサルティング案件が増加しましたが、証券業向けの開発案件や商品販売が減

少し、売上高は1,502億円と前年同期比3.3%の減収となりました。

産業ITソリューションは、製造・サービス業等向けにおける前年の大型案件の反動などによる減少や、機器導入をとまなう開発案件の減少による商品販売の減少などにより、売上高は626億円と前年同期比7.5%の減収となりました。

サービス別売上高

(単位：億円、%)



システムの開発などにとまなう機器の販売等をおこなっています。

NRIが受託開発したシステムや顧客所有のシステムを保守・運用するほか、長年培った業務知識やシステム技術、ノウハウを活かしてNRIが自主開発した共同利用型システムを提供しています。

コンサルティングサービスでは、金融業向けのシステムコンサルティング案件や中国向け案件が増加するなどして、231億円と前年同期比7.9%の増収でした。

開発・製品販売では、銀行業向けの売上が増加した一方、証券業や製造・サービス業向けの開発案件が減少し、877億円と前年同期比8.4%の減収となりました。

経営コンサルティングとシステムコンサルティングに大別され、システム開発におけるコンサルティングサービスも含まれています。

顧客の事業業務改革におけるパートナーとして、情報システムの企画・設計から開発までをおこなっています。

運用サービスでは、共同利用型サービスが好調だったため、1,251億円と前年同期比0.6%の増収となりました。

商品販売では、証券業向けや製造・サービス業等向けの機器販売が減少し、59億円と前年同期比43.6%の減収となりました。

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しております。

クラウドを利用した安全に情報を保存管理するサービス 「SecureCube / Secret Share」を提供開始

～広域災害対策、バックアップ、情報セキュリティ機能も標準装備～ (2010年10月12日発表)

NRIの連結子会社であるNRIセキュアテクノロジーズ株式会社(以下「NRIセキュア」)は秘密分散技術を用いて情報を分散し、複数のデータセンターに安全にデータを保存するクラウドを利用したサービス「SecureCube / Secret Share」の提供を開始しました。

最近ではデータの保存に関してクラウドサービスの利用が注目さ

れていますが、機密情報の外部保存に対しては懸念もあります。

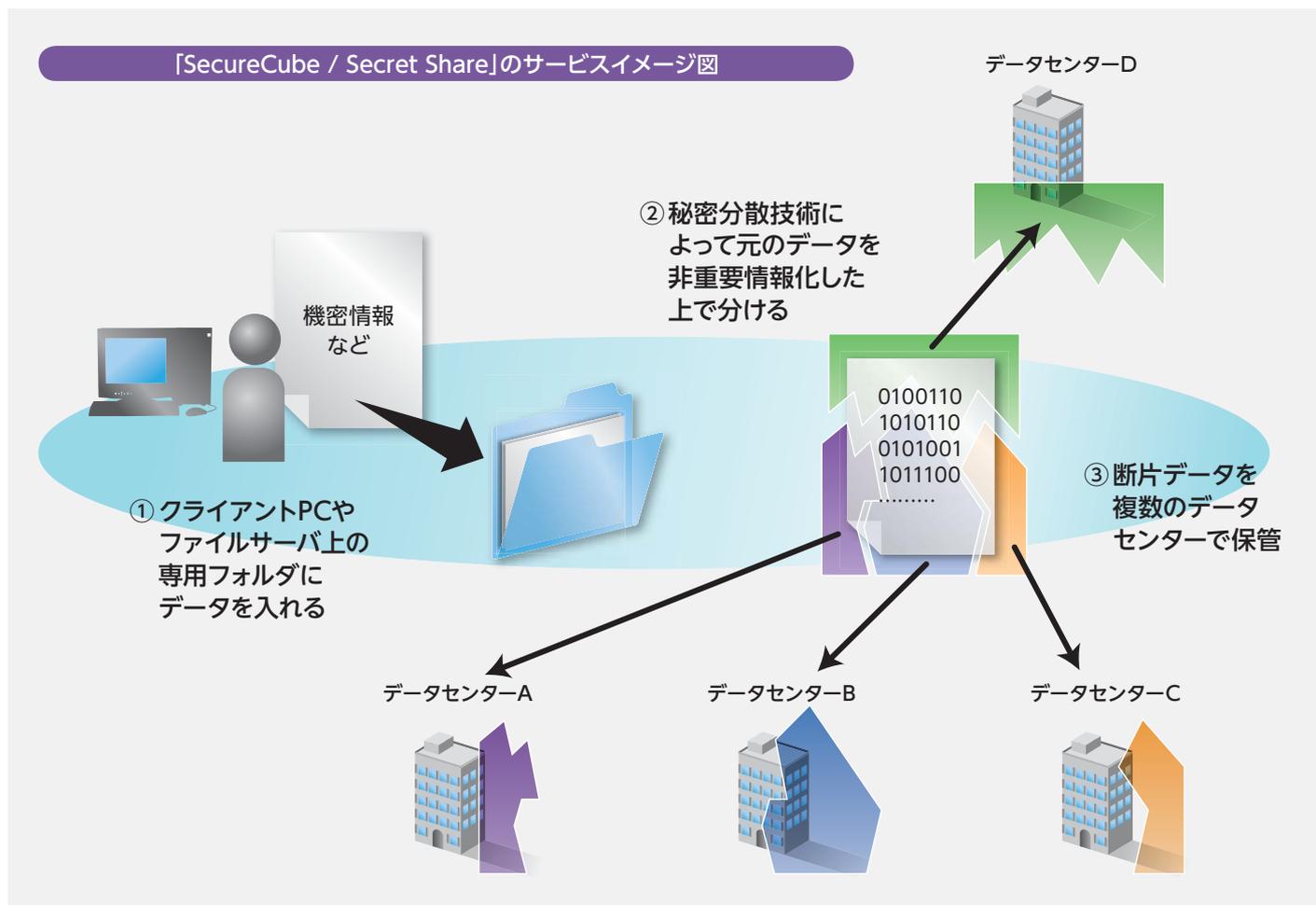
「SecureCube / Secret Share」は、秘密分散技術を用いてデータを細切れにして分散し、無意味な断片データに変えて各断片を複数のデータセンターに分けて保存するサービスです。データは断片にされる前に秘密分散処理されているため、断片データを紛失したとしても元の情報

が漏えいすることはなく、安全に機密情報を保存することができます。

NRIセキュアでは本サービス開始後5年で年間20億円の売上げを見込んでいます。

NRIセキュアは安全で低廉なデータの外部保存を可能にした本サービスを通じ、企業の情報セキュリティのさらなる向上を図っていきます。

「SecureCube / Secret Share」のサービスイメージ図



国内銀行向けにIFRS対応支援サービスを開始

～金融商品会計への影響度分析、課題抽出、簡易財務諸表作成などを支援～ (2010年10月25日発表)

NRIは国内銀行向けに、IFRS(国際財務報告基準)対応支援サービスの提供を開始しました。

EUでは2005年からIFRSが採用されましたが、日本においても2015年からIFRSが強制適用されると言われています。すでに一部の金融機関では主計部門や企画部門を中心に、IFRS適用に向けた準備を始めています。特に国内銀行にとって、IFRS適用にともなう大きなインパクトが発生すると

予想されています。

NRIは創業以来おこなってきた金融市場に関する調査・研究や、資本市場のインフラとなるシステム提供などで培った国内金融商品取引に関する知見とノウハウを活かして、このサービスを開発してきました。国内銀行のIFRS対応について、コンサルティングに留まらず、業務上の負荷を軽減するサービスを通じ、実務面から実践的に支援します。

本サービスは国内銀行が管理している金融商品に関わる各種データを対象として、IFRS適用にあたっての影響度分析、課題抽出、簡易財務諸表作成などをおこないます。それにより、移行にあたっての課題とその対応方法を具体化し、国内銀行が今後IFRS対応を進められるよう実行支援します。

NRIは本サービスについて、今後2年間で20社からの受注を目指します。

「NRI学生小論文コンテスト2010」の入賞者が決定

～全国の大学生・留学生・高校生が、日本の未来に向けて提言～ (2010年11月2日発表)



NRIが主催する「NRI学生小論文コンテスト2010」の入賞論文が決まりました。本コンテストはこれからの社会を担う若者に日

本の将来に目を向け、考える機会を持ってもらうことを目的として2006年から毎年開催しているものです。

本年は「日本から未来を提案しよう!」をテーマに、大学生、留学生、高校生から論文を募集し、大学等50校、高校89校から合わせて899の論文の応募がありました。NRIでは寄せられた論文について、NRIグループ社員による一次審査をおこなった後、特別審査委員に池上彰氏(ジャーナリスト)と最相葉月氏(ノンフィクションライター)を迎えた審査委員9名による最終審査会を経て、入賞論文を決定しました。

2010年11月23日の表彰式にて大賞、優秀賞、佳作に入賞された方々に表彰状を授与しました。入賞論文はNRIのホームページでご覧いただけます。

資産運用会社向けグローバルバックオフィスシステム「T-STAR/GV」の提供を開始

～野村アセットマネジメントの世界7拠点に先行導入～（2010年11月18日発表）

NRIは資産運用会社においてバックオフィス業務（資産運用会社が運用するファンドのポートフォリオ管理、キャッシュ管理等）をグローバルに一元管理するシステム「T-STAR/GV」の提供を開始しました。

グローバルに展開する資産運用会社においては、複数の国にまたがる拠点間で取引および残高情報を迅速かつ確実に連携することが必要になります。また、各拠点内および拠点間にまたがるバックオフィス業務の全体効率を高めることや、業務の品質を保ち、オペレーショナルリスクを低く抑えることが、グローバル展開を進めるために必要不可欠です。

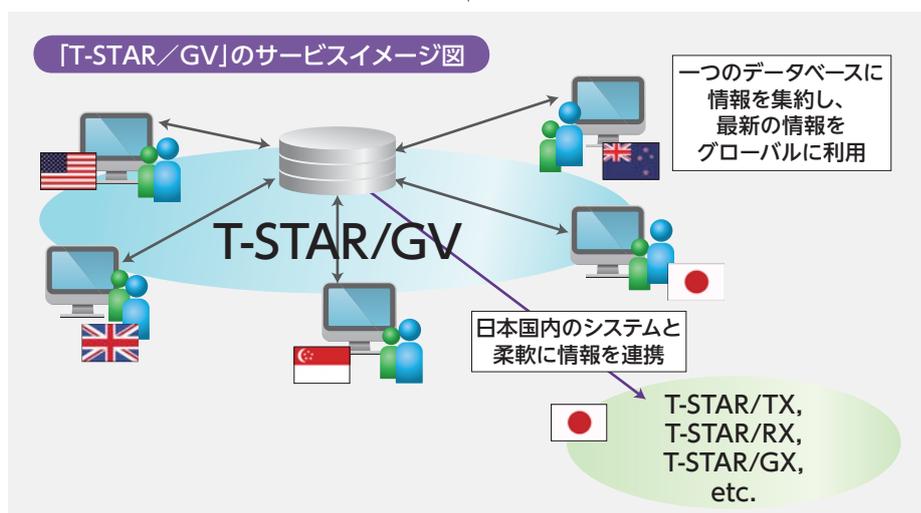
NRIでは、このような資産運用会社のニーズに対応するべく、「T-STAR/GV」を開発しました。

資産運用会社は「T-STAR/GV」を導入することで、タイムリーな残高情報連携によるグローバル運用基盤の確立やビジネスプロセス標準化による全体効率の向上などが実現できます。

なお、2010年10月には野村アセットマネジメント株式会社の東京、ニューヨーク、ロンドン、シンガ

ポールなど世界の7拠点全てにおいて「T-STAR/GV」を先行導入しました。

NRIはグローバルに展開する資産運用会社のバックオフィスに関して、ビジネスプロセスの設計からシステム構築、運用・保守管理に至るまで、今後も全面的に支援をおこなっていきます。



日銀決済システム「I-STAR/LC」を中国工商銀行に提供開始

～外為円決済業務におけるスムーズな日銀接続を実現～（2010年12月6日発表）

NRIは中国工商銀行の東京支店に対し、日本銀行の国債および資金決済をおこなう共同利用型サービス「I-STAR/LC」の提供を2010年11月29日に開始しました。

証券会社、銀行、信託銀行等の金融機関向けに提供している「I-STAR/LC」は、日銀ネットに接続して決済管理をおこなう日本

で唯一の共同利用型サービスです。共同利用型ならではのスピーディな導入、2005年のサービス開始以来の安定稼働、制度変更への着実な対応等が評価されています。現在では、日銀ネットにおいてコンピュータ接続方式を利用している金融機関の約半数に利用されており、業界標準となっています。中国工商銀行において

も、他社導入実績および充実した機能が評価され、このたびの導入に至りました。

NRIでは、今後予定されている新日銀ネットをはじめとする日銀システムの更新にも「I-STAR/LC」を対応させ、サービスの向上に取り組んでいきます。

NTTデータ、野村総合研究所が共同で 「ITと新社会デザインフォーラム2011」を開催

～2011年2月28日にITサービス産業の活性化に向けた活動内容を発表～（2010年12月8日発表）



ITと新社会デザインフォーラム 2011
日本が変わる。ITが創る。

NRIと株式会社NTTデータ(以下「NTTデータ」)は、2011年2月28日に共同で「ITと新社会デザインフォーラム2011」を開催しました。

現在、グローバルな社会や事業環境の大きな変化に直面し、日本、そしてあらゆる産業が転換期にあると言われていています。この日

本全体を覆う困難の打開に向けて、ITで貢献していきたい。この困難な時期をITサービス産業にとって自らを変革し、産業の魅力を高めていくための機会としていきたい。両社がこのような想いを共有し、2010年2月に第一回のフォーラムの開催に至りました。

第二回となる「ITと新社会デザ

インフォーラム2011」では、第一回フォーラムの提言内容を踏まえた、その後の両社の取り組みを紹介しました。また、ITサービス産業の活性化をテーマに、ITによる社会課題の解決やその実現に向けたITサービス産業のビジネスモデルや求められる人材像について、社外の有識者をまじえた講演やパネルディスカッション等を通して提言しました。

NRIとNTTデータは今後もITサービス産業がより魅力的な産業・業界となっていくための取り組みを推進してまいります。

株主の皆様へのアンケートより (有効回答数: 1,551)

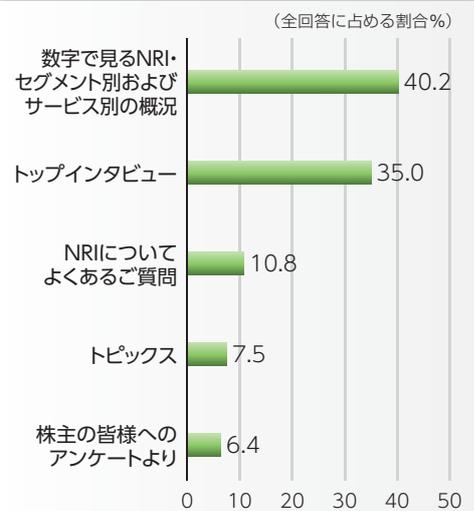
年に2回、「NRIだより」にアンケートを同封し、株主の皆様のご意見をおうかがいしています。

「NRIだより2010年Vol.3」に同封したアンケートに多くのご返信をいただき、ありがとうございました。右にご紹介した以外にも、業績や配当、未来創発フォーラムなどに関して多くのご意見・ご希望をいただきました。皆様のご期待にお応えできるよう、今後も努力してまいります。

Q. NRIだよりに掲載してほしいと思う内容をお聞かせください。



Q. NRIだよりでもっとも興味を持たれた記事はどれですか。



会社概要

会社名	株式会社野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番5号 丸の内北口ビル
沿革	1965年4月 株式会社野村総合研究所 (NRI) 設立 1966年1月 株式会社野村電子計算センター (NCC) 設立 1988年1月 両社が合併
資本金	186億円
代表者	代表取締役社長 嶋本 正
従業員数	5,595名/NRIグループ6,625名 (2010年12月31日現在)

株主メモ

- 株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100 株
公告方法	電子公告（当社ホームページ http://www.nri.co.jp/ ） ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先・照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711（通話料無料）